

番号	6 - 12	申請者	看護師 船津 巴
<p>【審査申請課題】</p> <p>重症心身障碍児の小腸ストーマ管理困難事例におけるケア介入の一考察 ―皮膚・排泄ケア認定看護師との連携によるストーマケア導入と皮膚びらん改善への介入を振り返る―</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>生後1週で原疾患に関連し小腸ストーマ造設となった児（以下A氏）。1歳6か月頃よりストーマ装具からの便漏れが増え、びらん範囲が拡大し処置時の啼泣が強くなった。当該病棟では初めてのストーマ造設患者で経験がないスタッフが多く、皮膚・排泄ケア認定看護師（以下WOCN）に相談し処置方法を検討した。A氏の苦痛を考慮し装具を貼付しない方法へ変更したことで、徐々に皮膚状態は改善し啼泣も減った。A氏の事例において重症心身障害児へのケア方法について振り返る。</p>			
審査結果	承認 （ 令和6年12月6日 ）		